

研究背景

超高齢社会

加齢性難聴者の増大



- ・ 認知症リスクが増大
- ・ 会話やテレビ音声の音量が増大
- ・ 会話が億劫になり社会活動の機会が減少



高齢者のQOLの向上

聞き取りを向上することで、
社会活動の機会を増やす



脳を活性化することで
認知症リスクを減らす



音声の聞き取りを向上させ、かつ思考をより活性化させる
加工方法の指針を見出す

研究内容

脳の活性度と聞き取りの評価・分析

- ・ 聴覚のメカニズムと聞き取りの関係性の明確化
- ・ 聴覚が脳活動に与える影響の明確化



音声を機能的に活用

音声をスピーカで提示 ⇒ 聞こえた音を高齢者が回答
脳の活性度を計測

⇒ 脳機能、正答率・間違い方を評価・分析



たんご

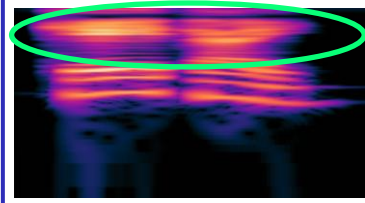


たんご かんご

音声加工の指針の提案

従来の加工方法

高域強調フィルタ



効果が大きい加工方法の指針

子音などの強調方法の定量化

- ・ 加工音部の時間長さ
- ・ 音圧レベルの増幅量
- ・ フィルタの周波数特性など

TANGO



TANGO

脳を活性化し、聞き取りも
向上する音声

